

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(17 年 3 月 1 日作成)

委員会名	木質系耐力壁形式構造小委員会	主 査 名：菊池重昭
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：鈴木秀三
設 置 期 間	2004 年 4 月～2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	木質系耐力壁形式構造（在来軸組構法、枠組壁工法、プレハブパネル構法）の各設計法の検証と提示	
委員構成 (委員名 (所属))	菊池重昭 (西日本工大)、槌本敬太 (国総研)、安藤直人 (東大)、井上正文 (大分大)、梅森浩 (大成建設)、沖浦博 (三井ホーム)、鴛海四郎 (住木センター)、梶川久光 (ミサワホーム)、神谷文夫 (森林総研)、中村昇 (新潟大)、那須秀行 (住友林業)、橋本敏男 (建材センター)、平井卓郎 (北大)、藤野栄一 (能開大)、安村基 (静岡大)	
設置 WG (WG 名：目的)	対水平力挙動分析WG 各種仕様をもつ耐力壁の水平力に対する挙動及び性能評価に関する分析と整理 神谷文夫 (森林総研) 他 9 名	
2004 年度予算	160000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004・7・22 16名 (注) 本年度はWGとの合同委員会として開催した 10・18 12・20 2005・2・21
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 各種の木質系耐力壁形式構造の構造理論に基づいた統一的説明、解釈による設計方法提示のためのデータベース作成にとりかかった。具体的にはこの構造形式の性能及び設計法に関する問題点、疑問点をリストアップし (Q)、各項目ごとに最新の知見に基づく検討 (A) を行う。 初年度である 2004 年度は、この作業をまず「対水平力」に関する項目から始め、現在 Q の整理を行っている。 尚、関連して旧挙動分析WGで行われた実験成果を、「挙動分析WGデータ集」としてまとめの作業を行っている。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 初年度としては 60%
その他評価すべき事項	